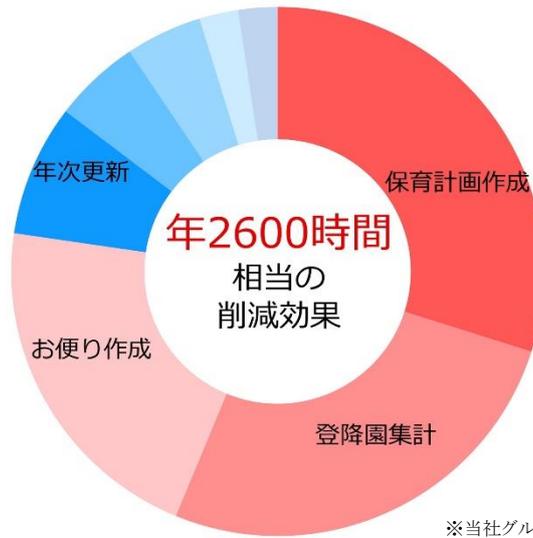


Child Care System による事務作業削減効果が示唆する 高い生産性の恩恵

Child Care Systemによる事務作業削減効果



global bridge HOLDINGS グループ(以下「当社グループ」)では、生産性を高めるために、2011年に自ら開発した Child Care System (CCS) を全直営保育施設に導入している。生産性を高めることによって、休日日数と保育士への教育時間を確保したかったからだ。

当社グループは同業他社と比べて保育士の採用力が強い。しかし、いくら採用力が強くても教育が出来なかったら本末転倒である。保育士資格は、1999年まで保育士資格という名称であり、2003年11月に国家資格として位置づけられた。そのため、国家資格ではあるが、国家試験を経ずとも養成校で単位を得て卒業さえすれば、取得できる資格となっている。当然ながら、身につけた専門知識の深度は、養成校によって差異がでてくることになる。医師や看護師などのように単位の修得のみならず、国家試験によって専門知識が一定以上習得できていると担保されている資格とは大きく異なる部分である。

そこで、当社グループでは施設長と主任に対して独自のライセンス制度を設けることで、質の向上を図っている。施設長ライセンスでは、施設長として当然知ってはいなくてはならない保育園運営に必要な児童福祉法や消防法や労働法などの基本的な法律、監査項目や保育理念の理解度などの知識、職員面談やプレゼン能力などのコミュニケーション技術を求めている。その効果は大きく、このライセンスに合格した施設長が運営する保育園は、行政監査の指摘はなく、事故やクレームの件数も極端に低いものとなっている。

このライセンス試験は年に2回開催しているが、培ってきた専門知識をベースとしたうえで、今までの保育士人生や養成校では勉強してこなかった項目を身につけなければならないため、それなりに勉強時間を確保する必要がある。

そこで勉強時間の確保に有効となるのが、CCS の導入と活用である。CCS は、あらゆる手書きの書類をパソコンで入力し、クラウドで管理するシステムである。例えば、園便りなどは、従来では手で書き、印刷してまとめ、一人ひとりに配布するというものであったが、これらの時間が大幅に削減される。CCS の中にあるいくつかのデザインの中から選択して、パソコンで文章を入力し、保護者にメールで送信することができるからである。こうして削減できる時間は年間 2600 時間にも上り、この削減できた時間を教育に充てている。年間休日日数に至っては、130 日まで増加した。

しかし、保育業界は他の業界と比べて ICT 技術は全くと言っていいほど浸透していない。その理由として、一つひとつの削減時間が小さいために生産性が向上したという効果を実感できないのかもしれないし、ICT 技術によって知らないうちに削減できた時間が他の仕事に充てられることで効果を感じていないのかもしれない。

しかし、時代はゆっくりであったとしても確実に変化している。保育事業者も時代の変化に気付き、対応していかなければならない。

●当レポートは、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。当レポートのご利用に際しては、ご自身の判断にてお願い申し上げます。また、当レポートは執筆者の見解に基づき作成されたものであり、当社の統一した見解を示すものではありません。なお、当レポートに記載された内容は予告なしに変更されることもあります。当レポートは著作物であり、著作権法に基づき保護されています。当レポートの全文又は一部を著作権法の定める範囲を超えて無断で複製、翻訳、翻案、出版、販売、貸与、転載することを禁じます。